

函館臨床福祉専門学校

学校関係者評価報告書

(平成28年度)

学校法人西野学園

函館臨床福祉専門学校

## 学校法人西野学園 函館臨床福祉専門学校 学校関係者評価報告書について

学校法人西野学園は、平成24年度より学校自己評価を行い本学園のホームページ上に公表いたしました。

また、平成27年度からは本校に関係の深い方々からご意見を頂戴し今後の学校運営に反映させ、改善を図るべく「学校関係者評価」を実施して、今年で2年目になります。学校関係者評価委員会では、第三者の視点に立った、多くの貴重なご意見、ご指導を賜り、改めて学校関係者評価の重要性を認識した次第です。ここに学校関係者評価の内容についてご報告いたします。

今後もより良い学校運営、教育活動を目指し、教職員一同尽力して参りますので、関係者の方々をはじめ皆様の、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年3月

函館臨床福祉専門学校 校長 佐藤 久道

### 「学校関係者評価」の実施について

今回は「平成27年度 学校自己評価」に基づき、学校関係者評価委員会の方々に評価して頂きました。

各評価委員には、事前に「平成27年度 学校自己評価」を配布した上で、学校関係者評価委員会でご意見を頂戴しました。

評価頂いた結果に対しては速やかに改善策を構築し、今後実践していく所存です。

その内容について要約の上、次のとおり報告いたします。

#### 学校関係者評価委員名簿

氏名	所属
廣畑 圭介	北海道教育大学 函館校 講師
祐川 暢生	社会福祉法人侑愛会 侑愛荘 施設長
佐々木 仁美	函館市介護保険課 認定調査員 (函館臨床福祉専門学校 社会福祉科 卒業生)
河原 武則	元北海道函館水産高等学校 校長

#### 開催日時

第1回 学校関係者評価委員会 平成28年6月7日 13時30分～15時30分

第2回 学校関係者評価委員会 平成29年3月8日 13時30分～15時30分

平成28年度 函館臨床福祉専門学校 学校関係者評価結果

項目		平成27年度 自己点検 結果	平成26年度 自己点検 結果	平成28年度 学校関係者評価結果
I 教育理念 ・目標	1 学校の理念・目的・育人人材像は定められているか	4.7	4.8	学園の「建学の精神」「教育理念」等は、不動にして揺ぎなき指針となっている。新しい教育の姿が前向きに検討されており期待したい。学校の理念、目的、育人人材像が定められ、教育計画が立てられており、学生便覧により学生、保護者等に周知され、概ね達成されている。
	2 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4.2	4.6	
	3 理念・目的・育人人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか	4.0	4.2	
II 学校経営	4 目的等に沿った経営方針が策定されているか	4.1	4.8	多くはない教職員数にも関わらず、学生の実態や業界の動向に即した組織体制を作り、機能的な動きが図られている。組織体制が構築され、業務の効率化が図られており、おおむね達成されている。若者にはスマートフォンが良く使われており、さらに対応することが望まれる。
	5 運営組織は明確にされ、有効に機能しているか	4.1	4.6	
	6 情報システム等による業務の効率化が図られているか	3.9	4.7	
	7 学校内総合力を高めるための連携と協働体制の確立が図られているか	3.9	4.4	
	8 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4.1	4.6	
III 教育活動	9 教育理念・育人人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4.2	4.8	いずれの項目についても、協働の意識の下、それぞれに成果が上がっているものと考えられる。教育活動について、学生便覧及び講義概要に明文化され実行されている。教職員の研修体制及び授業評価体制が取られ、また学生に応じた個別的な指導が行われており、概ね達成されている。職員の能力開発はしっかりと行われている。時事的な福祉にかかわるニュース等も取り上げながらリアリティのある教育を心がけることで、更に良いのではないかと。
	10 学校行事の適切な企画、円滑な運営がなされているか	4.3	4.8	
	11 授業規律を確保し、指導体制の立て直しが図られているか	4.3	4.8	
	12 関連分野の企業・施設等や業界団体等との連携により、教育課程の作成・見直しが行われているか	4.1	4.5	
	13 成績評価、単位認定の基準は明確になっているか	4.3	4.8	
	14 授業評価の実施、評価体制があるか	4.4	4.8	
	15 職員の能力開発のための研修が行われているか	4.3	4.7	
16 クラス担任と教科担任の連携を密にし、学生の実態にあった指導法の確立に努めているか	4.1	4.8		
IV 学修成果	17 就職率の向上が図られているか	4.6	4.8	退学率の低減には課題が残るが、地域の施設・機関と連携しながら、就職率の向上が図られており、概ね達成されている。現場で活躍している先輩との交流をより積極的に進めていくとよい。
	18 退学率の低減が図られているか	3.8	4.5	
	19 卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	3.8	4.2	

V 学生支援	20	学生相談に関する体制は整備されているか	4.2	4.8	卒業生がそれぞれに社会的な責任を果たしている姿を見て、各項目ごとの教育活動の成果と推測される。同窓会による卒業生へのサポートも年々しっかりしたものになっている。在校生が教員に相談しやすい体制が取られている。学生からの相談体制の整備や修学資金貸付制度の情報提供による経済的支援、保護者との連携が図られており、おおむね達成されている。卒業生との交流をさらに積極的に進めることが良い。
	21	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4.1	4.3	
	22	保護者と適切に連携しているか	4.3	4.9	
	23	卒業生への支援体制はあるか	4.3	4.5	
	24	ロングホームルームなどを効果的に活用し、職業観の育成に努めているか	4.2	4.7	
	25	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.8	4.3	
	26	学生が自己理解、自己啓発、自己実現をするための方策が整備されているか	3.7	4.6	
VI 教育環境	27	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3.3	3.8	防災はもちろんであるが、昨今では防犯対策も計画的に進めていく必要があると思われる。トイレの設備と図書館の書籍のより充実が求められるが、活性化の努力が行われ、概ね達成されている。
	28	図書室利用の活性化が図られているか	4.1	4.0	
	29	防災に対する体制は整備されているか	4.2	4.6	
VII 学生募集	30	学生募集は適正に行われているか	4.2	4.6	募集戦略というより、もっと広く広報戦略という捉え方で福祉の魅力を対象者に宣伝、周知できるよう努力して欲しい。募集要項等に基づいて行われており、適切に行われている。入学者数が伸びないことに憂慮している。
	31	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.8	4.5	
VIII 財務	32	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.4	3.6	学生数に対応した予算編成となっており、予算の収支計画は妥当なものとなっている。
	33	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.6	3.9	
IX 法令等の遵守	34	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4.1	4.9	学校運営全般にわたり、たとえば職員の労務に関するコンプライアンスも含め適正に行っていて欲しい。設置基準の遵守及び個人情報保護対策が適切に行なわれている。
	35	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4.3	4.8	
X 社会貢献等	36	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4.0	4.4	福祉事業所のボランティアニーズを積極的に把握するよう努めて欲しい。学校がバックアップし、学生が地域の活動団体に参画してボランティア活動を行っているなどの実績があり、おおむね達成されている。
	37	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4.3	4.5	

#### 総括

校長をはじめ教員スタッフの熱意をいつも感じます。地域の福祉人材基地としての誇りをもって、今後も邁進して下さるようお願いしたい。各項目について、おおむね達成、妥当、適切に遂行されており、地域の社会福祉専門職養成機関としての機能を十分に果たしている。